

報道機関各位

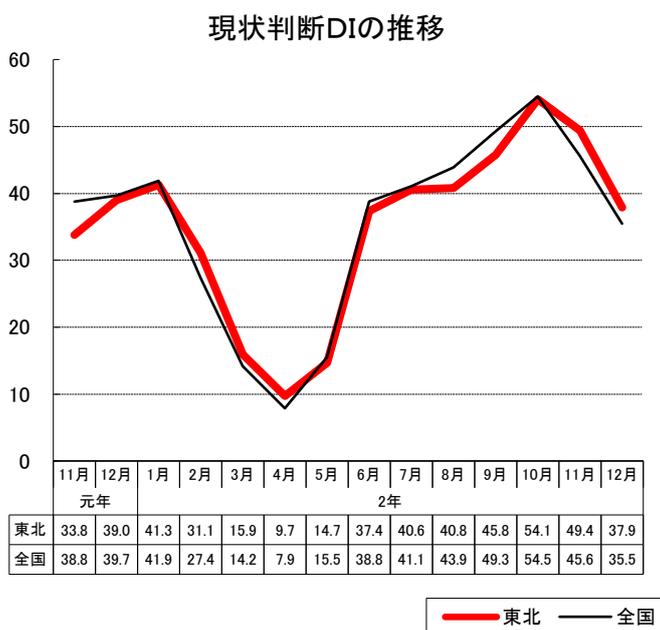
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年12月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：佐竹 勤 株式会社ユアテック 取締役社長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和 2年12月 東北分（東北6県）」について、とりまとめたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

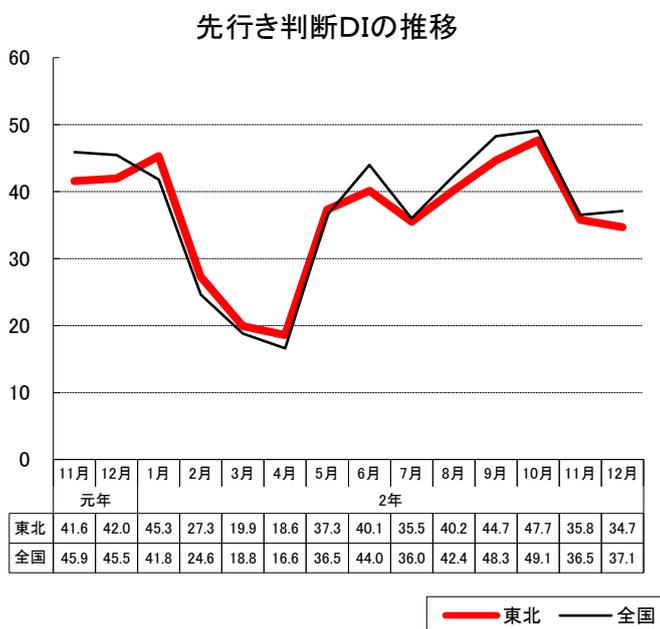
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性 季節調整値）

現状判断DIは「37.9」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲11.5ポイントと大幅に下回った。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性 季節調整値）

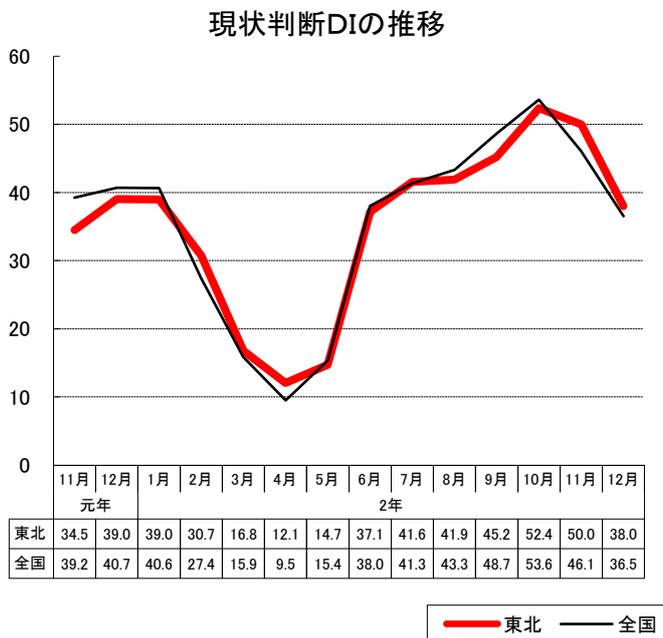
先行き判断DIは「34.7」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲1.1ポイントとやや下回った。



2. 原数値

(1) 現状判断 (3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「38.0」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲12.0ポイントと大幅に悪化した。



○家計動向関連…競艇場、通信会社の業種でDIが前月を上回ったが、観光型ホテル・旅館、観光名所・遊園地・テーマパーク、衣料品専門店等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「35.1」(▲12.6)と、2か月連続で前月を下回った。

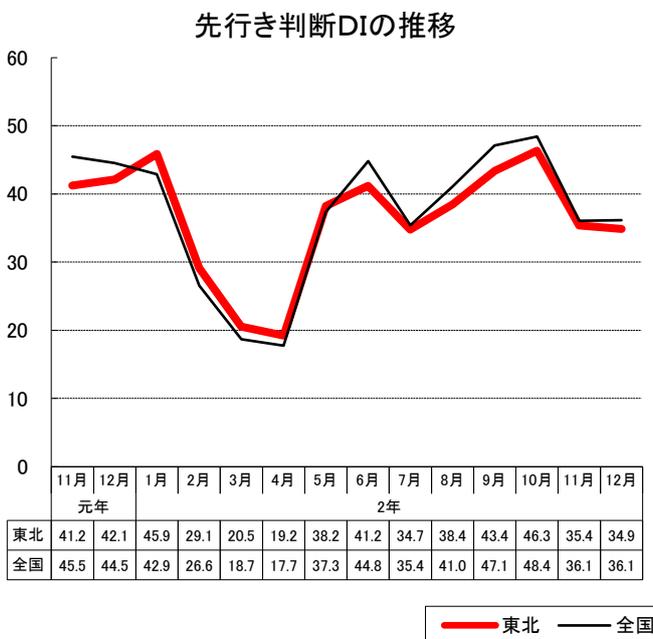
○企業動向関連…通信業の業種でDIが前月を上回ったが、その他非製造業[飲食品卸売業]、金融業、農林水産業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「44.1」(▲12.5)と、前月を下回った。

○雇用関連…DIは「45.0」(▲7.5)と、2か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断 (2~3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「34.9」と2か月連続で前月を下回った。前月と比較し▲0.5ポイントとわずかに下回った。



○家計動向関連…コンビニ、衣料品専門店、旅行代理店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般レストラン、設計事務所、観光名所・遊園地・テーマパークの業種等でDIが前月を下回った。

DIは「32.4」(±0.0)と、前月から横ばいとなった。

○企業動向関連…司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、通信業、食食品製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、輸送業、金融業、金属製品製造業等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「42.6」(▲1.5)と、2か月連続で前月を下回った。

○雇用関連…DIは「36.3」(▲2.5)と、2か月連続で前月を下回った。

<参 考>

■D Iの推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	元年		2年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北現状	34.5	39.0	39.0	30.7	16.8	12.1	14.7	37.1	41.6	41.9	45.2	52.4	50.0	38.0
家計動向関連	34.4	38.9	38.2	31.6	17.0	14.5	16.1	41.9	42.8	42.9	44.6	51.2	47.7	35.1
企業動向関連	35.0	39.4	40.7	27.3	17.1	8.3	11.4	27.9	40.4	40.4	47.7	55.1	56.6	44.1
雇用関連(参考)	34.2	39.5	40.8	31.3	15.0	1.6	11.8	23.7	36.3	38.2	45.0	55.0	52.5	45.0

（2）先行き判断D I

	元年		2年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
東北先行き	41.2	42.1	45.9	29.1	20.5	19.2	38.2	41.2	34.7	38.4	43.4	46.3	35.4	34.9
家計動向関連	41.5	41.2	46.7	29.9	22.9	21.2	40.0	42.1	34.1	38.1	41.1	44.1	32.4	32.4
企業動向関連	41.4	43.9	45.7	22.7	16.4	15.9	32.6	39.0	37.5	40.4	48.5	50.0	44.1	42.6
雇用関連(参考)	39.5	44.7	40.8	35.0	13.8	10.9	36.8	39.5	33.8	36.8	48.8	53.8	38.8	36.3

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和 2年 12月25日～31日

回答者数 175/189 名、回答率 92.6%（全国 1,794/2,050 名、87.5%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（1）現状判断理由

○「やや良くなっている」

（通信会社）…サービスエリアの拡大によって新規客の加入が続いている。年配者は放送サービス、若年者はインターネットサービスへの加入と住み分けができています。攻めの営業展開が功を奏している。

（競艇場）…年末年始は来客が多いので、この12月はそれなりに売上がある。

（新聞社[求人広告]）…求人数をみる限りでは前年より10%近く伸びている。ただ、前年は消費税増税後の反動で求人数が大きく減少していた。その点を踏まえると、景気が戻ってきて先行投資が始まったとまではいえない。厳しい状況は続いている。

○「変わらない」

（一般小売店[酒]）…懸念していたお歳暮も、スタートこそ鈍かったが駆け込みでの受注が多く、結果的には数、単価共に例年並みとなっている。対照的に飲食店や観光施設などに関しては、前半は良かったものの、新型コロナウイルス感染者の急増による自粛要請や様々な支援策の停止を受け、一気に販売量が落ち込んでいる。年末年始は営業しない判断をした飲食店も出始めている。

（スーパー）…新型コロナウイルス第3波の影響で、ここ最近では客単価の上昇がみられる。家庭内食需要の増加が発生している影響で、食料品類の売上が増加している。

（家電量販店）…コロナ禍のなかで、空気清浄機や加湿器などがとても売れている。また、家に籠もるという巣籠り的な需要で大型テレビも売れているので、例年になくプラスになっている。

（住関連専門店）…新型コロナウイルスの影響でちまたでは景気が悪くなっているようだが、当店の小さな販売店ではそれほどでもなく余り変わらない。

（食料品製造業）…お歳暮の発送件数は若干前年よりプラスである。土産は11月後半からの新型コロナウイルス感染の再拡大により低迷している。売上トータルでは前年の90%くらいである。

（電気機械器具製造業）…電子部品の市場価格が維持を続けており業績がキープできている状況で、景気としても大きな変化がない。

（広告業協会）…新しい日常に沿った広告戦略の見直しは手探り状態で、これといった解決策が見いだせない。広告市場は前年比70~80%で推移している。

（職業安定所）…3か月前、前月より求人数が増えている状況は変わらない。

○「やや悪くなっている」

（コンビニ）…客単価は高値横ばい状況で売上を保っている。しかし、新型コロナウイルス感染者増加の影響が来客数に顕著にあらわれており、来客数の減少に歯止めが掛からない。

（衣料品専門店）…県内で新型コロナウイルスのクラスターが発生してから、夕方以降の来客数が大幅に減少している。

（乗用車販売店）…販売量だけみるとある程度まで戻ってきた印象だが、客の購買動機は飽くまで必要な代替のみに限定されている。サービス入庫も同様でプラスアルファ的な追加整備が振るわず、収益は前年の8割を保つのが精一杯の状況である。

（その他小売[ショッピングセンター]）…Go To Travel及びEatキャンペーンで多少持ち直した感じがあったものの、停止発表があったために客の消費マインドに陰りがみられる。

（旅行代理店）…Go To Travelキャンペーンである程度まで回復したが、新型コロナウイルス感染拡大による年末年始利用停止で、予約の90%がキャンセルとなり、再び危険水域に入っている。

（その他サービス[自動車整備業]）…ますます拡大している新型コロナウイルス感染症の影響で、客足が減少し売上も減少している。航空会社や鉄道など交通運輸業の急激な業績悪化に伴って、関連するサービス業の仕事もなくなってきている。

（設計事務所）…新型コロナウイルスの影響や業務量の減少のため、12月25日で仕事納めとする同業が非常に多い。この先の見通しが経たず不安視しているようである。

(その他住宅[住宅展示場運営会社]) …3か月前と比較して来場者数は減少している。12月は年間で一番住宅購入者の動きが鈍化するが、それに加えて新型コロナウイルスの感染が拡大している影響があり減少傾向にある。

(農林水産業) …お歳暮用の贈答りんごの注文数は例年並みであったが、一箱の個数が少なめの商品の注文数が前年より3割程度増えている。

(輸送業) …新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大しており、その影響が出てきている。9~11月と少しづつではあるが回復傾向にあったが、12月の売上予想は前年比で15%減少しており、再度悪化に向かっていくようである。

(金融業) …Go Toキャンペーン停止が消費者心理に影響したのか、飲食のみならず個人消費は総じて低調である。住宅需要自体は大きな変化はないが地域の新型コロナウイルス感染症の発生状況からか、契約に至るまでが長期化しているケースが散見される。

○「悪くなっている」

(商店街) …年末需要が低迷している。

(その他専門店[酒]) …飲食店は忘年会関連がほぼ全てなくなり絶望的な状況である。小売は単価の安いものの動きはあるが、収益的には喜ばしい状況ではない。

(高級レストラン) …新型コロナウイルス第3波により、どうにもならない状況である。食事をしたいと思っている人はいるが、やはり怖さもあるようなので、新型コロナウイルス感染が収束するまでは厳しい。

(一般レストラン) …例年だと12月は団体の利用があるが、今年はほぼない状況である。しかも、最近はランチタイムの客も激減している。クリスマスの営業も客がほとんど来ないという状態であった。かなり切迫した状況になってきている。

(観光型ホテル) …Go To Travelキャンペーンが停止されたことにより、年末年始と前後のキャンセルが発生し、前年比マイナスに転じた。例年年末年始は満室になるので、早い停止決定であればGo Toキャンペーンは関係なく満室にできたが、時間が短すぎる。

(観光名所) …Go Toキャンペーンの停止とともにキャンセルが相次いでいる。緊急事態宣言当時とやや似通ったような状況だが、店を閉めるわけにもいかず、開店休業状態となっている。景気うんぬんよりも会社の存続が危ぶまれる場面になってきている。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …会食の人数制限、忘年会の開催控え、Go To Travelキャンペーンの停止、飲食店の時短営業などが大きく影響している。

(人材派遣会社) …前年比でマイナス20~23%前後の求人数で推移しており、まだまだ回復傾向がみられる状況ではない。

(2) 先行き判断理由

○「やや良くなる」

(コンビニ) …年末に向け、新型コロナウイルス感染のピークに向かおうとしているが、年末年始の自粛要請で峠は越えられるのではないかと見ている。そもそも客単価や購入点数はある程度安定しているので、あとの問題は街に人が戻るかだけである。2~3か月先には若干なりとも来客数は増加するとみている。

(金属製品製造業) …来年に向け、販売計画がプラス方向に見直されたとみられる動きが出始めている。新型コロナウイルスによる影響については不透明だが、取引先は比較的楽観視しているようである。

(通信業) …教育現場にてスマートデバイス端末の導入検討が増えている。また、補助金制度を活用する取引先も増えており、受注は増える見込みとなっている。

(司法書士) …地元法務局の不動産登記件数が一時前年比10%程度下がっていたが、12月末時点で5%減まで減少割合を戻している。

(職業安定所) …自動車関連産業の動きが活発になってきたようである。当面求人は出さないと述べていた事業所が求人を出してきたり、人員を削減すると言っていた事業所がその人員削減を先送りする事例が出てきたりしている。そういったこともあり、今後多少は良くなっていくのではないかと予想している。

○「変わらない」

(百貨店) …年度の替わり目で歳時やイベントの増える時期であるが、新型コロナウイルス感染対策も定着しており、以前のような規模感は見込めない。また、現在のトレンドからも入店客数の回復は見込んでいない。

(衣料品専門店) …現状下では消費者の買物マインドが上がってくるとは考えにくく、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてくるまでは先行きが見えない。

(食料品製造業) …新型コロナウイルスの感染拡大により冬季の観光需要には全く期待できない。しかし、県をまたぐ移動の自粛により遠方の知人等に対する贈答品の発送が増えるのではないかと予想している。

(金融業) …大手メーカー関連の製造業は一時の減産体制から脱却しており堅調推移が期待できる。一方で特に飲食業者は帰省需要が見込めないまま正月明けの閑散期を迎えることから、資金繰りにはナーバスになる。

(人材派遣会社) …相変わらず飲食業界や旅行業界、宿泊業界は厳しいが、一方で、スーパーや建設業、IT関連などの企業は前年比アップの推移をしている。業種、業態によって差はあるが、全体的にみるとそれほど悪くない状況ではないかとみている。今後の採用計画を立てる上で、経営者と採用担当者とのやりとりのなかでの話である。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルス感染症の第3波は、非常に大きな波で地方経済に影響を与えている。ワクチン接種の開始など世の中の大きな変化がない限り、状況としては好転しない。外食産業の復活なしに景気は上向かない。

○「やや悪くなる」

(高級レストラン) …年末でも会食がかなり少なく、この先も見込めない。当社の重要な客層である60～70代がより外出や食事を控えている。

(旅行代理店) …新型コロナウイルス感染症の第3波の状況も更に悪化しているなか、良くなる条件はない。Go To Travelキャンペーンの停止が長引けば更に悪くなる。

(通信会社) …本格的な冬の時期となり、新型コロナウイルスの感染者数が増加する傾向にある。ワクチン投与により沈静化するであろうが、向こう1～2年は景気の向上は期待できない。

(農林水産業) …12月の大雪により、さくらんぼの枝折れやパイプハウスの破損が発生し、収益低下や費用増加が懸念される。

(輸送業) …新型コロナウイルス感染症の第3波は今現在も拡大しており、年が明けてからも数か月は収まらないと予測する。したがって、景気回復にはまだまだ時間が掛かることが予想される。

(金融業) …新型コロナウイルス感染が収束しない限り、先が見通せない状況が続く。

○「悪くなる」

(一般小売店[酒]) …やっと状況が好転し始めた矢先の逆戻りの影響が余りにも大きい。ここまでは何とかやってこれたがこれ以上は耐えられないと嘆く客も多い。この状況が続けばどんどん苦しくなる一方である。

(一般レストラン) …完全に新型コロナウイルスの影響であるが、レストランに行かなくてもいいという新しいスタイルに変化していってしまうことを恐れている。既にそういったことが発生しているのではないかと不安になっている。なかなか厳しい状況が今後も続くともみている。

(観光名所) …Go Toキャンペーンは一定の効果が出たが、感染者数が増加するにつれて自粛ムードが漂っている。振り客の減少に加え、特に団体旅行を支えていた年配の方の自粛ムードがひどい。震災後の自粛ムードに似ているようなところもあるがそれ以上である。また、震災と違って復興というような最終的な着地点が見えない状況で、この先どうなっていくのかが全く読めない。

(設計事務所) …最近、新型コロナウイルスが身近になってきている。この状態が悪化すれば、自粛期間の長期化や業務の時間的な制限などにより、受注業務の増額を伴わない工期延長などが相次ぐ。また、この先に予定している案件を受注した場合には、従業員への業務負荷の増加、働き方改革の残業時間等の規制と相反する状態が生じ、人材の確保や品質の確保が難しい状況が発生することが想像できる。

(出版・印刷・同関連産業) …新型コロナウイルス感染の再拡大により、1月以降の印刷キャンセルが発生している。飲食店を相手とする広告業者は広告が集まらず、チラシや出版物の作成断念が続いており、景気は一段と悪くなることが予想される。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上